

樽見 ～ 水鳥 を歩く

みどころ紹介

K a z T a r o

☆ 樽見鉄道 樽見から水鳥へ

大垣からレールバスに揺られること1時間。終着樽見の駅は新築バンガロー（団結ガンバローではない）風で、これから観光に力を入れていこうという意気込みが感じられる。

樽見は、山々に中に刻まれた2本の川の合流地点に開けた小さな町である。役場があり、農協があり、小学校・中学校・警察署・消防署・総合病院があり、服屋肉屋不動産屋本屋と一通りの個人商店がある。日本のどこにでもある、山間部の「お町」なのである。

樽見は樹齢1400年の大桜「淡墨桜」を擁する「淡墨公園」で有名。樽見駅から徒歩10分なので我々も歩いていこう。と思って歩きだしたが、途中で「見上げる坂道、私はもう登れない」という肉体的要求と「桜の咲いてない季節に行ってもしゃーないで」というご都合理論とが合致。轉身することにした。よって行ってないのであしからず。この本がでる頃には桜も見頃だろうから、あなたが行ってみると良いと思うぞ。

☆ 菊花石

このあたりでは暗緑や暗褐色の石の中に白色の菊の模様が入った菊花石を産出する。輝緑岩などの割れ目にホウカイ石が入ったものと考えられている。教材用に欲しかったので、水鳥へ行く途中の石屋を覗いてみたのだが、5cm程度のもので2000円もするので、諦めてしまった。ちなみに1mもある巨石の場合は10万以上していたぞ。しかしこれはRIGHT-WINGの方々には必須のアイテムかもしれない。

☆ 芋洗い機

水鳥(ミドリ)の集落に近づくと、道路脇の水路に水が流れる音にまじって、ごろごろと鈍い音がする。音の源に近づくと小さな水車が回っており、おばさん二人が、これは水流を利用して芋を洗っているのですよ、と教えてくれた。我々は、なるほどねえ生活の知恵ですねえ、と感心した。

☆ 根尾谷断層

濃尾地震は今を去ること101年前、岐阜県を中心に起こった大地震である。マグニチュードが8.0、北は仙台、南は鹿児島まで振動が観測されたことから、内陸で発生した地震にしては、いかに大規模なものであったかということが分かるものだ。

この地震で、世界的に有名な「根尾谷断層」が生じた。この断層をキーとして小藤という地質学者が地震の主原因としての「活断層」の存在を世界的にアピールしたことは、地質オタクの間ではとみに有名である。

まあとにかく、樽見鉄道水鳥駅付近は根尾谷断層でも最も有名な場所で、『断層公園』なんてものがあるということなのである。

『断層公園』で、いかにもズンドコな感じがするなあ……。

☆ 断層公園周辺は……

右上写真のように、地震によって北東部が6mも隆起して台地状となり、南北に走る道路が斜めに寸断されるような形になっている。地震直後は隆起した方の農作物が全て枯れたという。

現在でも道路は分断されたままであり、人々はこの断層の上と下で互いに荷物を上げたり下ろしたりして大変不自由な思いをしている……のかなあ、なんて勝手にイメージしてたけど、そんなわけ無いわな。特別天然記念物だろうがなんだろうが、構わずに道路は断層を削って普通の坂道となってしまっている。

坂道の途中には、写真のような看板が立っていて、一応存在はアピールするわけなんだけど、「ココ」と書かないとどこが断層なのか分からないわけで今一つ地味。看板もよくよくみると「根尾谷断層」という字の部分は、縦に亀裂が入っていて断層を表現しているのだろうけど、誰も気付かない。これも地味。

断層公園と呼ばれる部分には、断層の一部を掘り下げて屋内に取り込んだ資料館と、展望台を兼ねた売店・喫茶店、そしてトイレ・駐車場と一通りの設備は整っている。売店には300円から買える根尾谷断層の資料等が多数販売されているので、買って勉強してみるのも一興ではないかと思えますね。それと展望台からはレールバスの雄姿が写真に納められます。テッチャンもどうぞ。